

講義ユニット名	産科婦人科		所属科目名	全身性疾患制御学
講義ユニット 責任者	産科婦人科学教授	所属	産科婦人科学	
講義ユニット コーディネーター	むかい ゆりか 向井 百合香	所属	産科婦人科学	
授業方法	講義形式。パワーポイントを使用して、スライドを呈示しながら進める。あるいは配布資料などに沿って説明しながら授業をすすめる。			
概 要	産科学では女性の一生においての大きなイベントである妊娠・出産についての正しい知識を習得し、妊娠・分娩時の異常を学ぶ必要がある。また、婦人科疾患については解剖、内分泌環境、腫瘍性病変等について学んでいく必要がある。講義を通して妊産婦や婦人科疾患の病態、診断、治療法などを理解することを目標とする。			
講義ユニットの 到達目標	女性生殖器の発育の過程を説明できる。 女性生殖器の形態と機能を説明できる。 性周期発現と排卵の機序を説明できる。 閉経の過程と疾病リスクの変化を説明できる。 乳房の構造と機能を説明できる。 成長発達に伴う乳房の変化を説明できる。 乳汁分泌に関するホルモンの作用を説明できる。 不正性器出血、腔分泌物（帯下）の増量、腔乾燥感、性交痛、乳汁漏出症をきたす疾患を列挙し、その病態を説明できる。 月経異常・無月経を説明できる。 月経異常の原因と病態生理を説明できる。 月経異常をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。 月経異常がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。 血中ホルモン（卵胞刺激ホルモン<follicle-stimulating hormone <FSH>）、黄体形成ホルモン<luteinizing hormone <LH>）、プロラクチン、ヒト絨毛性ゴナドトロピン<human chorionic gonadotropin <hCG>、エストロゲン、プロゲステロン）測定値を評価できる。 骨盤内臓器と腫瘍の画像診断（超音波検査、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>、子宮卵管造影<hysterosalpingography <HSG>）所見を概説できる。 基礎体温の所見を説明できる。 腔分泌物の所見を説明できる。 内外生殖器の先天異常を説明できる。 卵巣機能障害、更年期障害を概説できる。 不妊症の系統診断と治療を説明できる。 子宮筋腫・子宮腺筋症の症候、診断と治療を概説できる。 子宮内膜症の症候、診断と治療を説明できる。 外陰、腔と骨盤内感染症の症候、診断と治療を説明できる。 クラミジア感染症を説明できる。 性感染症の原因微生物を説明できる 梅毒の症候と診断と治療を説明できる。 淋菌感染症の診断と治療を説明できる。 性器クラミジア、性器ヘルペス、尖圭コンジローマの診断と治療を説明できる。 子宮頸癌・子宮体癌（子宮内膜癌）の予防、症候、病理所見、診断、治療を説明でき 卵巣腫瘍（卵巣癌、卵巣嚢腫）の症候、病理所見、診断、治療を説明できる。 絨毛性疾患（胎状奇胎、絨毛癌）の症候、診断、治療を説明できる。 妊娠の診断法を説明できる。 妊娠に伴う身体的変化を概説できる。 胎児・胎盤検査法（超音波検査、分娩監視装置による）の意義を説明できる。 羊水検査法の意義と異常所見を説明できる。 体循環、肺循環と胎児・胎盤循環を説明できる。 妊娠・分娩・産褥での母体の解剖学的と生理学的変化を説明できる。 胎児・胎盤系の発達過程での機能・形態的变化を説明できる。 正常妊娠の経過を説明できる。 正常分娩の経過を説明できる。			

講義ユニットの 到達目標	産褥の過程を説明できる。 育児に伴う母体の構造的・生理的な変化、精神問題を説明できる。 母子保健の意義を医学的に説明できる。 妊娠時の薬物療法の注意点を説明できる。 主な異常妊娠（流産、切迫流産、子宮外妊娠（異所性妊娠）、妊娠高血圧症候群、多胎妊娠、胎児発育不全）の病態を説明できる。 主な異常分娩（早産、微弱陣痛、遷延分娩、回旋異常、前置胎盤、癒着胎盤、常位胎盤早期剥離、弛緩出血、分娩外傷）の病態を説明できる。 主な異常産褥（子宮復古不全、産褥熱、乳腺炎）の病態を説明できる。 産科救急（産科出血、播種性血管内凝固<DIC>）の病態と治療を説明できる。 主な合併症妊娠（耐糖能異常、甲状腺疾患、血液型不適合妊娠、toxoplasmosis, other agents, rubella, cytomegalovirus, herpes simplex <TORCH>症候群）の病態を説明できる。 胎児機能不全(non-reassuring fetal status <NRFS>)を説明できる。 人工妊娠中絶の適応を説明できる。 帝王切開術の適応を説明できる。
講義日程	別紙日程表を参照のこと
出席の取り扱い	出席は広島大学医学部医学科のグランドルールに従う オンラインの場合も講義室で受講した場合もForms の出席アンケートの提出をもって出席とみなす
評価項目	到達目標の達成度 （基本的理解と知識の応用）
評価法	試験（MCQ形式で試験を行う（配点 MCQ 100点）。 本試験における合格基準は60点とする。
予習・復習への アドバイス	講義内容に該当する教科書を読んで予習しておいて下さい。 復習はその日のうちに行ってください。
推奨参考書	【購入を推奨する参考書】 標準産科婦人科学 編集：綾部琢哉/板倉敦夫 医学書院